

平成27年度事業報告

特定非営利活動法人

産業・環境創造リエゾンセンター

平成27年4月1日～平成28年3月31日

1. 概要

昨年度設立10周年を迎え、今年度は新たな10年を見据えながら、活発な活動を展開してきた。これまで築いてきた川崎市との連携をより強固にしつつ、温暖化対策を中心とする地球環境問題に取り組むとともに、「地域防災力の一層の強化とエネルギー対策の取組」、「地域環境改善への取組」、そして、「市民活動及び他地区との交流」を推進し、「スマートコンビナートの構築と川崎臨海部における情報発信」を目指して、川崎市の産業及び環境政策等との連携活動を重要テーマとして、活動を推進してきた。

自主事業として平成27年10月30日に第6回目の「臨海コンビナート都市連携シンポジウム」を主催した。基調講演を山口大学大学院教授の稲葉和也先生にお願いし、新たな後援団体のご支援もいただき、大変多くの方々のご参加をいただき、実り多いものとなった。

平成27年8月には、富山県氷見市を訪問し、今日の川崎臨海部の基礎を築いた「浅野総一郎氏」の業績を伝える、「NPO法人九転十起の会」との新たな交流を行った。

また、これまでの活動実績から、川崎臨海部産学公民連携のセンター機能が全国的に認知されつつあり、全国のコンビナート地域との連携強化を意識した活動にも取り組んだ。平成28年1月に大分県で開催された「コンビナートシンポジウム in 大分」にパネリストとして招へいされ、これまでの当NPO法人の活動実績と川崎臨海部における取組を中心に報告した。

さらに、「川崎臨海部防災会議」（発足—平成24年11月）のもと、第3回目となる平成27年度川崎臨海部広域防災訓練が東日本大震災発生5年目にあたる平成28年3月11日に実施された。本訓練は当NPO法人の重点テーマの一環として川崎市と連携して取り組む臨海部の安全に関するものであり、会員企業を中心にこれまで以上に多くの臨海部企業が参加した。

重点事業の一環である環境への対応活動として、川崎市が推進する「低CO2川崎ブランド認定制度」及び「川崎メカニズム認証制度」への支援活動を行った。「低CO2川崎ブランド」の今年度の会員企業の認定は、2社2件（2009年度からの累計12社・23件、全市合計65件）であった。

2. 事業活動内容と成果

(1) 自主事業

①定常事業

(ア) 定例会・リエゾン交流会（3回実施/年）

「定例会」は会員参加（賛助会員を除く）によるNPO法人の運営を目指し、活動計画・

報告に対する意見交換を通して事業展開を図る目的で実施するもので、会員と行政等との情報・意見交換を目的とする「リエゾン交流会」と合わせて実施した。今年度は前年度に引き続き、会員企業の現地視察要望を踏まえて、臨海部及び関連企業の新たな取組について視察見学会を実施した。また、「浅野総一郎氏」の業績を伝える NPO 法人との交流のため、富山県氷見市を訪問した。

<通算第 28 回交流会>

平成 27 年 4 月 22 日（水）視察研修会（参加者 23 人）

- ・日鉄鉱業(株)「栃木事業所」（栃木県佐野市仙波町）

<通算第 29 回交流会>

平成 27 年 8 月 29 日（土）～30 日（日）視察研修会（参加者 20 人）

- ・富山県氷見市

浅野総一郎生誕地、浅野総一郎翁資料展示館「帰望郷館」、「NPO 法人九転十起の会」との交流会、氷見あいやまガーデン、氷見漁業交流館「魚々座」、氷見番屋街

<通算第 30 回交流会>

平成 28 年 2 月 9 日（火）視察研修会（参加者 20 人）

- ・(株)デイ・シイ「川崎工場」（川崎区浅野町）
- ・ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）（川崎区殿町）

(イ) 川崎市との政策懇談会（2 回開催／年）

臨海部に係る最新の動向や市の政策課題・予算措置等について、役員・正会員と川崎市関係局幹部との活発な意見交換を行った。

<第 1 回> 平成 27 年 11 月 25 日（水）川崎市産業振興会館

- ・川崎市 6 局からの情報提供（総合企画局、経済労働局、環境局、まちづくり局、建設緑政局、港湾局）

総合企画局：キングスカイフロント・羽田連絡道路、スマートシティの取組

環境局：大気環境の状況等、川崎市における地球温暖化対策の推進、川崎駅周辺の散乱防止及び路上喫煙防止の状況

まちづくり局：羽田空港の機能強化・小田栄新駅の整備等

建設緑政局：首都圏の高速道路の料金体系

港湾局：港湾の防災・減災、臨港道路東扇島水江町線の整備促進、新規コンテナ定期航路、川崎港緑化基本計画の策定

経済労働局：川崎国際環境技術展 2016、グリーンイノベーションクラスター

- ・会員企業からの情報提供

味の素(株)：飼料用アミノ酸リジン

東京ガス(株)：東京ガスグループの取組

<第 2 回> 平成 28 年 3 月 22 日（火）川崎市産業振興会館

- ・川崎市 6 局からの情報提供（総合企画局、経済労働局、環境局、まちづくり局、建設緑政局、港湾局）

総合企画局：平成 28 年度川崎市予算案(総合企画局関連)、川崎市総合計画、臨海部
国際戦略本部の設置

環境局：平成 28 年度川崎市予算案(環境局関連)、川崎市気候変動適応策基本方針

まちづくり局：平成 28 年度川崎市予算案(まちづくり局関連)、臨海部交通機能の強
化

建設緑政局：平成 28 年度川崎市予算案 (建設緑政局関連)

港湾局：平成 28 年度川崎市予算案 (港湾局関連)

経済労働局：平成 28 年度川崎市予算案(経済労働局関連)、川崎国際環境技術展 2016
開催報告、グリーンイノベーションの推進、新川崎・創造のもり地区の整備

・会員企業からの情報提供

J F E スチール(株)： J F E の防災対策技術

東燃ゼネラル石油(株)： 災害対応・強靱化への取組

(ウ) 川崎市・リエゾンセンター定例情報交換会 (毎月 1 回、早朝開催 7 年目)

参加者 川崎市総合企画局臨海部国際戦略室 課長、係長、担当職員

川崎市経済労働局国際経済推進室 課長、係長、担当職員

川崎市環境局地球環境推進室 課長、係長、担当職員

当 NPO 法人 正副幹事長、専務理事、主任研究員、事務局

* 臨海部関連等に係る事業情報を交換し、相互協力により事業推進を図ってい
る。

(エ) 川崎市との「臨海部活性化研究会」(毎月 1 回開催 平成 24 年 1 月から実施)

参加者 川崎市総合企画局臨海部国際戦略室 課長、係長、担当職員

(川崎市経済労働局国際経済推進室 課長、係長、担当職員)

(川崎市環境局地球環境推進室 課長、係長、担当職員)

当 NPO 法人 幹事 7 人、専務理事、主任研究員

今年度の主な協議・検討事項

川崎臨海部再生プログラムの実施状況、川崎市国土強靱化地域計画、川崎臨海
部の防災対策、川崎臨海部の交通政策、川崎市の工業用水、川崎市の緑化施策、
各企業の保安・安全対策及び(仮称)臨海部ビジョンについて 等

また、次のとおり、講演会を開催した。各会員企業及び川崎市各局職員の参
加があった。

平成 27 年 12 月 9 日 (水)「オープンデータ活用で”エコまち”を実現する」

講師 (株)富士通研究所 知識情報処理研究所専任研究員 西野文人氏

(参加者 20 人)

平成 28 年 1 月 28 日 (木)「ノンテクニカルスキルの向上で事故防止」

講師 旭硝子(株)千葉工場環境安全全部保安管理グループ主席 南川忠男氏
(公益社団法人 化学工学会 安全部会事務局長) この講演は、石油コンビナート高度統合運営技術研究組合(RING)から紹介をいただき実施した。(参加者 30人)

*「臨海部活性化研究会」は、川崎市総合企画局臨海部国際戦略室と幹事会メンバーで構成している。協議事項によっては、経済労働局国際経済推進室、環境局地球環境推進室、その他川崎市各局の参加をいただいている。

(オ) 会報の発行(年3回発行)

<第22号>(平成27年5月15日発行)

平成26年度第2回川崎市との政策懇談会、平成26年度第2回川崎臨海部リエゾン推進協議会、川崎国際環境技術展2015、交流会情報

<第23号>(平成27年10月15日発行)

平成27年度第1回川崎臨海部リエゾン推進協議会、NPO法人九転十起交流会との交流会、交流会情報、会員情報、お知らせ

<第24号>(平成27年12月15日発行)

臨海コンビナート都市連携シンポジウム2015、平成27年度第1回川崎市との政策懇談会、新理事紹介、研究会報告、会員情報、お知らせ

*会報は、会員向けの当NPO法人に係る広報として、NPO法人活動状況、会員企業の臨海部関連情報などを提供している。

②リエゾン研究・検討会

(ア) 川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会(2回開催/年)

各企業に関連する道路問題や台風等による道路冠水対策が活発に検討された。とりわけ、冠水被害対策については、より掘り下げた検討を行っていくこととしている。

<第1回 通算第15回> 平成27年6月2日(火) 明治・安田生命ビル第2会議室
(議題) 臨海部付近における道路工事等の進捗状況と今年度の工事予定及び企業からの新たな要望事項について、その他

<第2回 通算第16回> 平成27年11月10日(火) 川崎市役所第3庁舎15階第1・2会議室

(議題) 臨海部付近における道路工事等の進捗状況と今年度の工事予定及び臨海部における荷待ちトラックの解消について

*この懇談会は、臨海部道路を中心とする冠水問題を契機として川崎市建設緑政局により平成21年11月に発足した。

(イ) 循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議

<通算第8回> 平成27年11月16日(月) 現地及び車中

今年度は、蛍光灯リサイクル等の資源化処理工場の視察を行うとともに、意見交換

を行った。(参加者 22人)

(視察) 株式会社リフレックス 本社リサイクルセンター・資源循環リサイクルセンター (横須賀市内川2丁目)

(議題) 川崎市一般廃棄物処理基本計画(答申)、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正及び水銀による汚染の防止に関する法律及び大気汚染防止法の一部改正について

*この連絡会議は、川崎市一般廃棄物処理基本計画の行動計画の改訂に伴う「環境産業との連携」の方針に基づき、平成21年6月に川崎市環境局により発足した。

(ウ) その他、会員企業の参加する主な会議

a. 京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議

(目的) 川崎臨海部を中心とするコンビナートにおいて、企業間連携による高度化の取組について検討し、その事業化を図ることにより、高付加価値で、環境共生エネルギー産業の集積をめざす。

(設置) 平成20年1月

(構成員) 臨海部立地企業、経済産業省(資源エネルギー庁、関東経済産業局)、神奈川県、川崎市、当NPO法人

オブザーバー—石油コンビナート高度統合運営技術研究組合(RING)

(事務局) 神奈川県政策局、川崎市経済労働局

<第1回>平成27年5月27日(水)

(議事) 平成26年度の活動報告、平成27年度の活動及び平成27年度監事の選任について、立地企業の最近の動向、国、自治体からの情報提供(経済産業省資源エネルギー庁、神奈川県、川崎市、経済産業省関東経済産業局)

<第2回>平成27年10月19日(月)

(議事) (講演)「石油化学産業の課題と今後の方向性について」(経済産業省製造産業局化学課)、JX日鉱日石エネルギー(株)川崎製造所の概要等について

(視察) JX日鉱日石エネルギー(株)川崎製造所

<第3回>平成28年3月14日(月)

(議事) (講演)「臨海部堤外地における防災のあり方に関する検討会について」(国土交通省港湾局海岸・防災課災害対策室)、京浜地区コンビナート活性化に向けたWG活動内容報告、WGからの報告(ユーティリティ共有化WG、LNG冷熱活用WG)、自治体等からの情報提供

<冷熱活用ワーキンググループ会議の開催 平成28年3月23日(水)>

東京ガス(株)根岸基地及び東京液化酸素(株)(横浜市磯子区)の視察

b. 川崎臨海部防災会議

(目的) 東日本大震災の経験を踏まえて、川崎臨海部における災害の未然防止や発生

した災害の拡大防止を図るとともに、市民及び従業員等の安全確保及び二次災害の防止、企業の事業継続性の確保などの課題について協議・検討する。

(設置) 平成 24 年 1 月

(構成員) 臨海部立地企業、臨海部関連産業団体ほか及び川崎市

臨海部各島を代表して会員企業 7 社—旭化成ケミカルズ(株)、J X エネルギー (株)、J F E スチール(株)、昭和電工(株)、東亜石油(株)、東燃ゼネラル石油(株)、富士電機(株)、当 NPO 法人事務局

(事務局) 川崎市総務局危機管理室、総合企画局臨海部国際戦略室

今年度は 2 回開催され、地域防災力の充実・強化、防災対策の進捗状況、そして、今後の取組等が検討された。また、第 3 回目の川崎臨海部広域防災訓練が行われた。

<第 1 回> 平成 27 年 5 月 29 日 (金)

<第 2 回> 平成 27 年 12 月 4 日 (金)

<平成 27 年度川崎臨海部広域防災訓練>平成 28 年 3 月 11 日 (金)

訓練内容 情報伝達訓練、津波避難訓練、防潮堤閉鎖訓練、メーリングリストによる情報共有 (事前説明会 平成 28 年 2 月 25 日 (金))

c. 川崎メカニズム等活性化連絡会議

(目的) 川崎の特徴、強味を活かした地球温暖化対策を推進するため、低 CO2 川崎ブランドの推進や川崎メカニズム認証制度の推進、更には、2 つの制度の活性化を図る。

(設置) 平成 25 年 5 月

(構成員) 事業者 (内会員企業 14 社) 及び川崎市

オブザーバー (当 NPO 法人ほか 事業者団体)

<第 1 回>平成 27 年 12 月 22 日 (火)

・平成 27 年度「低 CO2 川崎ブランド事業」及び「川崎メカニズム認証制度」の実施状況等について

・「低 CO2 川崎ブランド事業」及び「川崎メカニズム認証制度」のアンケート調査結果について

*参加会員企業 旭化成ケミカルズ(株)、味の素(株)、(株)エクサ、J X エネルギー(株)、J F E エンジニアリング(株)、J F E スチール(株)、J F E プラリソース(株)、昭和電工(株)、(株)デイ・シイ、東亜石油(株)、東京ガス(株)、東京電力(株)、東燃ゼネラル石油(株)、富士電機(株)

③ 情報発信事業

(ア) 第 6 回臨海コンビナート都市連携シンポジウムの開催

首都圏コンビナート地域では、スマートコンビナート構築に向けて、「地球温暖化等の環境問題への対応」、「イノベーションによる国際競争力の強化」、さらに「防災力の一層の強化とエネルギー対策の取組」等の推進に向けた挑戦が求められている。また、平成

27年は、COP21が開催された「地球温暖化防止対策」の重要な年であった。

コンビナート地域は、今後も我が国経済を牽引する重要な産業集積地である。「連携」と「競争力強化」をキーワードに、スマートコンビナートのあるべき姿等について、「スマートコンビナートへの挑戦～連携と競争力強化」をテーマとして開催した。

平成 27 年 10 月 30 日（金）14：00～17：00（終了後 交流会）

（場所）川崎市産業振興会館 1階大ホール 参加者 139 人

（基調講演）「国際競争力の強化に向けたコンビナート連携」

山口大学大学院技術経営学科教授 稲葉 和也氏

（パネルディスカッション）

テーマ 「スマートコンビナートへの挑戦～連携と競争力強化」

コーディネーター 足立 芳寛 理事長

パネリスト

茨城県 鹿島コンビナート

三菱化学(株)鹿島事業所企画管理部長 原田 理 氏

千葉県 京葉コンビナート

丸善石油化学(株)取締役執行役員千葉工場長 川畑 裕 氏

神奈川県 京浜コンビナート

東燃ゼネラル石油(株) 執行役員川崎工場長 藤井 文人 氏

*アンケートの回答では、コンビナート内の連携の大切さ、日本型コンビナートの考え方、強みがよく理解できた、3 コンビナートの違いが見えた、論点が明確で議論がわかりやすかった、人材育成が課題だ等のご意見をいただいた。

（イ）他のコンビナートとの交流等

平成 27 年度コンビナートシンポジウム（主催：九州経済産業局、大分県、大分市、大分コンビナート企業協議会）（共催：中国経済産業局）への参画

（平成 28 年 1 月 20 日（水）～21 日（木））

「コンビナートから地方を元気に」をテーマとして、大分県大分市で開催された。パネリストとして、菅原専務理事が招へいされ、「産学公民の連携による臨海部の環境・エネルギー創造と産業活性化を目指して～NPO 法人産業・環境創造リエゾンセンターの活動～」を発表した。

（ウ）市民・事業者意見交換会の実施

川崎市地球温暖化防止活動推進センター協力事業として、「市民と事業者の環境の取組－第 3 回エコ・クロスマッチング」（6 月の環境月間の取組事業）に会員企業 2 社が出席し、発表と市民、他事業者との意見交換を行った。また、1 か月間のパネル展示に当 NPO 法人のパネルを提供した。

<第 3 回エコ・クロスマッチング>

平成 27 年 6 月 27 日（土）

(場所) 高津市民館 第1・2会議室 参加者 約40人

(発表・意見交換参加企業)

昭和電工(株)川崎事業所 (かわさきスマートライフスタイル大賞優秀賞)

東京ガス(株)川崎支店 (かわさきコンパクト参加事業者)

(エ) 展示会等への出展

a. 川崎国際環境技術展 2016

平成28年2月18日(木)～19日(金) 10:00～17:00

(場所) とどろきアリーナ (中原区等々力)

第8回目を迎え、これまでに引き続き、「川崎市経済労働局」及び「京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議(神奈川県主催)」との連携ブースとして出展した。会員企業の地球温暖化防止への取組をはじめ、CSR活動に係るレポートを展示した。連携ブースには、市民、企業、行政関係者、学生など多くの来場者があった。(2日間で約500人)併せて臨海部に関わるクイズを実施した。(回答305人)

また、この川崎国際環境技術展2016において、「低CO2川崎ブランド15」認定結果発表会が行われ、会員企業から次の2社が認定を受けた。

味の素(株)(大賞)、JFEスチール(株)

また、ブランド認定審査委員長の足立理事長が結果の講評と「世界が取組み始めたCOP21」と題して特別講演を行った。

さらに、全出展者の中からベストブース大賞を会員企業3社が受賞した。

大賞 東燃ゼネラル石油(株) 優秀賞 味の素(株)・東京ガス(株)

b. 川崎区企業市民交流事業推進研究会<企業市民カフェ>

平成28年2月26日(金) 15:00～17:30

(場所) 東海道かわさき宿交流館4階集会室

当法人及び会員企業の活動状況の紹介パネルを展示した。

c. 川崎市地球温暖化防止活動推進センター3月展示

平成28年3月1日(火)～31日(木)

(場所) 高津市民館

(テーマ) CSR観点での市民との環境コミュニケーション

当NPO法人及び会員企業の活動状況の紹介パネルを展示した。また、平成28年3月26日(土)に、会員企業の味の素(株)が、低CO2川崎ブランド“15大賞受賞に関して「飼料用アミノ酸で食資源と地球環境を守る」と題して講演を行った。

(オ) ホームページを通じた情報発信等

ホームページを通じて、毎月「会員企業の最新の動向」として、臨海部企業の事業活動に係る最新情報を発信した。また、新聞各社に毎月「会員企業の最新の動向」を提供し、会

員企業の最新の事業紹介を行った。

*「会員企業の最新の動向」—各社のホームページ掲載事項を中心として、「技術革新」「国内外展開」、「CSR」の視点から毎月とりまとめた。平成24年1月から実施。

(カ) その他

かわさき市民アカデミー「身近な環境とみどり」ワークショップ

後期講座 平成27年12月10日(木) 川崎市生涯学習プラザ

「川崎臨海部100年の歴史—工都かわさきの誕生~100年前にタイムスリップ」

講師 瀧田顧問

(2) 受託事業

川崎市から次の3事業を受託した。

① 「川崎臨海部再生リエゾン推進協議会」(総合企画局)

これまでに引き続き、「川崎臨海部再生リエゾン推進協議会」の事務局として2回の協議会開催・運営を行った。

<第1回>平成27年7月16日(木) 15:00~17:00

(場所) 川崎市産業振興会館 1階ホール

(議題) 川崎臨海部の持続的発展に向けて

臨海部を取り巻く状況の変化

NPO 法人産業・環境創造リエゾンセンターから「川崎臨海部産学公民連携推進事業 企業間連携によるエココンビナート推進事業」の報告

企業間の連携事例

会員企業の東燃ゼネラル石油(株)から「炭酸ガス事業に関する連携協力」の報告

企業・行政からの情報提供

<第2回>平成28年3月25日(金) 15:00~17:00

(場所) 川崎生命科学・環境研究センターLiSE 1階大議室(川崎区殿町)

(議題) 川崎市からの情報提供

企業からの情報提供

「リサーチコンプレックス推進プログラム」について

「京浜コンビナート活性化に向けたワーキング」について

将来を見据えた臨海部に向けて

② 「川崎市環境・産業交流コーナー」管理運営業務(経済労働局)

これまでに引き続き、会員企業及び臨海部企業を中心に活動の交流・広報の場として、また、川崎市の関連イベントの紹介の場として、川崎市産業振興会館12階の「川崎市環境・産業交流コーナー」の管理・運営を行った。

さらに、市民等との交流事業として2回の工場見学・意見交換会を実施した。

<第1回>平成27年8月3日(月)夏の親子見学会 参加者45人

(見学先) 東京電力(株)川崎火力発電所(川崎区千鳥町)

JFEスチール(株)東日本製鉄所(京浜地区)(川崎区扇島)

<第2回>平成27年10月7日(水)秋の見学会 参加者26人

(見学先) 三栄レギュレーター(株)東京工場(川崎区水江町)

日本貨物鉄道(株)新川崎機関区(幸区鹿島田・小倉)

また、川崎国際環境技術展2016に出展し、市民や他都市からの来場者に対して、会員企業を中心とする臨海部企業の取組を紹介し、広く広報した。ブース来場者は、2日間で約500人と大変盛況であった。

③ 「川崎臨海部産学公民連携推進事業～企業間連携によるスマートコンビナート推進調査業務」(経済労働局)

今年度は、川崎臨海部および他地域のコンビナートの現状を各種データに基づき客観的に把握するとともに、他地域のコンビナートとの比較優位性等を検証する上での指標を整理し、川崎臨海部コンビナートの強み・弱みに係る各種指標の「見える化」を図った。

(3) 各種協議会、委員会等への参加

次の各種協議会、委員会等に出席し、川崎市等との連携のもと、それぞれの目的達成に向けて活動した。

① 「川崎温暖化対策会議(CC川崎エコ会議)」(事務局 川崎市環境局地球環境推進室)

会長 足立理事長、理事(会員企業)5社(味の素(株)、JFEスチール(株)、東京ガス(株)、東京電力(株)、東燃ゼネラル石油(株))

運営委員会 委員長 菅原専務理事、委員(会員企業)2社(東京ガス(株)、東京電力(株))

CC川崎エコ会議シンポジウム(平成27年11月27日(金))

スマートライフスタイル大賞表彰式 受賞者による取組事例発表

講演 「食から地球環境を考える」

講師:安井 レイコ氏(環境省IPCCレポートコミュニケーター 料理研究家)

② 「川崎市温室効果ガス排出量ライフスタイル評価委員会」(事務局 川崎市環境局地球環境推進室)

委員長 足立理事長 委員 八木主任研究員

③ 「かわさきコンパクト委員会」(事務局 川崎市環境局地球環境推進室)

副委員長 瀧田顧問

<第1回委員会> 平成27年7月9日(木)

<第2回委員会> 平成27年10月14日(水)

<第3回委員会> 平成28年2月8日(月)

<交流会> 平成28年2月8日(月)

かわさきコンパクト参加会員企業 7 社

旭化成ケミカルズ(株)、味の素(株)、J X エネルギー(株)、
昭和電工(株)、(株)デイ・シイ、東京ガス(株)、東京電力(株)

- ④ 「川崎国際環境技術展実行委員会」(事務局 川崎市経済労働局国際経済推進室)
監事 足立理事長 企画部会(会員企業) 6 社 味の素(株)、J X エネルギー(株)、
J F E エンジニアリング(株)、J F E スチール(株)、東京ガス(株)、東燃ゼネラル石油
(株)
- ⑤ 「川崎区企業市民交流事業推進委員会」(事務局 川崎区まちづくり推進部地域振興課)
委員 雑賀事務局長
(会員企業) 8 社 味の素(株)、J X エネルギー(株)、J F E スチール(株)、昭和電工
(株)、東京ガス(株)、東京電力(株)、東燃ゼネラル石油(株)、富士
電機(株)

(4) その他

今年度の川崎市による優れた環境技術・製品等の認定、認証、表彰に係る会員企業は次のとおりとなっている。

低 CO2 川崎ブランド 15 認定 2 社 2 件

味の素(株) 飼料用アミノ酸「リジン」(大賞)

JFE スチール(株) 自動車用熱延高強度鋼板「NANO ハイテン®」

*平成 28 年 2 月 5 日(金)、味の素(株)「飼料用アミノ酸 リジン」は、第 12 回 LCA
日本表彰で「経済産業省産業技術環境局長賞」を受賞した。

第 4 回スマートライフスタイル大賞 2 件

旭化成ケミカルズ(株)川崎製造所「殿町夜光線沿い公道クリーンアップ活動」(大賞)

味の素(株)川崎事業所「事業活動、地域貢献における環境負荷低減の取組」(優秀賞)

3. 運営体制等

- (1) 役員は 11 名体制のもとに、理事長を中心に、川崎市との政策懇談会をはじめとするシンポジウムの実施等 NPO の重要な事業において主要な役割を担った。
- (2) 会員数(平成 28 年 3 月末現在)は、団体会員 18 社、個人会員 12 人(今年度 1 人入会)、賛助会員 3 社であった。
- (3) 幹事会は、引き続き次の 7 社で運営した。会合は 8 月を除き毎月 1 回開催した。NPO 法人の事業活動の企画・運営全般にわたり協議、意見交換を行い、事業の円滑かつ効果的な推進に努めた。
- ・幹事長 東燃ゼネラル石油(株) 副幹事長 東京ガス(株)
 - ・幹事 (株)浜銀総合研究所(株)、東京電力(株)、東亜石油(株)、J F E スチール(株)、(株)デイ・シイ